



センター長あいさつ(藤敷庸一)

あけましておめでとうございます。
 大変な年明けとなりました。
 新年始まって早々、能登半島での地震と津波、羽田空港での衝突事故、北九州小倉での火災など、相次ぐ災害や事故が続いています。今も避難所生活や救助活動、現場検証などが行われ、全貌が明らかになるのは時間がかかりそうです。
 何かしなければ、助けに行かなければと、すでに行動に起こされている方もおられると思います。私たちもできる支援をしていきたいと考えています。

さて、児童家庭支援センターとしては年度末に向けて、年末年始の休暇を挟んで、第二ラウンドがスタートしました。私たちは相談を受け、来られた方々を継続して社会につなげ、支援していくことが一番の仕事だと考えています。

皆さんの目に見えるところでは、昨年5月からの活動で形にしてきた様々な取り組みをブラッシュアップして変化させていきたいと考えています。このこのこルーム、このこの広場のこのこの食堂講演会や相談会、教育機関や市町村との連携を充実させていきます。児童相談所や里親支援センターはっと、各市町村の要対協との連携強化に努めていきたいと思っています。

2024年もどうぞよろしくお願致します。

**新年あけましておめでとうございます
 本年もよろしくお願いたします**

新年を迎えて、私も「くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ」も新たな気持ちで、相談・支援活動に取り組んでいます。このこのこ、親のこと、家族のことで悩み事のある方、地域や学校で気になる児童・生徒のことを心配されている住民の方や先生方、「このこの」のスタッフと一緒に考えたいませんか。小学生・中学生・高校生も相談可です。

第4回子ども教養講座を開きます

先着40名
参加無料
※お子様連れも可
 2024. **2.25** 日
 9:30~15:40
(9:00受付開始)

くまのっ子児童家庭支援センターのこのこでは、白浜町社会福祉協議会とISアカデミー(クオリティソフト)とのコラボレーション企画として子ども教養講座④を開催します。
 日時は、2月25日(日)9時30分から、場所はイノベーション・スプリングス(クオリティソフト、白浜町中1-073の1)です。

子ども教養講座には、「すべての子どもが尊重される」「安心して子育てを行える」よう、子ども・保護者・教職員・福祉に関わる方・地域の方々等、どなたでもご参加ください。裏面に掲載しているQRコードよりお申し込みができます。

今回は「いのちを守る最前線から」をテーマにして、子どもたちの「いのち」の問題の解決と予防について第一線で取り組みされている4人を講師として招きます。(講師紹介記事は裏面に掲載)

コミュニティ創りへの期待

講座では、「自死・自殺」の問題を入口にして、「不登校やいじめ・虐待・ヤングケアラー・貧困等」といった問題の対処

にある「幸せ」の土台を考えます。それは、「希薄になっている地域や学校・職場といったコミュニティに新たな展開が生じること」を期待できる学びの場を準備しています。

さまざまなスタイルのセッション

当日は、講義や対談、講師との対話といったプログラムになっています。
 【セッション1】9:40~11:50
 最新の問題状況と問題解決の糸口について講師それぞれからのミニ講義。
 【セッション2】12:50~13:40
 幸せの土台となるコミュニティ創りの期待と接近の仕方について、4人の講師陣による対談。

(2面に続く)

お電話での相談

迷ってもお電話ください

0739-42-5515

(9時~17時)

このこのスタッフがお電話に出ます。
 留守番電話の場合には、お名前だけ残していただければ、折り返しご連絡しますので、電話番号を通知してお電話して下さいね。

LINE・メールでの相談

LINEはこちら

メールはこちら

nokonokojikasen@gmail.com

うまく文章を書けなくても大丈夫。
 間違っても気にしないで大丈夫です。
 書ける範囲で書いてくださったらお返事します。



相談窓口 (事前にご予約をお願いします)

令和6年1月号
 (第8号)

運営者

特定非営利活動法人白浜レスキューネットワーク



通信

のこのこ

くまのっ子 児童家庭支援センター



白浜町長 井潤さんが来所されました

年末に白浜町長の井潤さんが、このこを訪ねてくれました。センター長から5月開所以来のセンターの活動概況をお伝えするとともに、子どもを取り巻く状況について、最近の特徴的なことについてお話しする機会を頂戴しました。

特に、これからのこどもに関わる相談支援は、小学校入学前から取り組んでいくことが必要であることが話題に出ました。そういう意味でも乳幼児の保護者のみなさんとのつながりをつくっていくことが大切であり、乳幼児と保護者が集う「このこ広場」の活動等についても説明させていただきました。

また、学校等の教育分野と子ども・子育てに関わる福祉分野、それから地域のつながりありを深めながら相談支援を進めていることについても励ましのお言葉を頂きました。



子ども教養講座④ 第一線で取り組まれている講師陣とともに考えませんか



お申込みはこちら



いっしょに学びませんか

知ろう、考えよう 子どもの福祉 その⑥「こども基本法」2

こども基本法は、本コーナーでも取り上げているように、日本国憲法および児童の権利に関する条約の精神に則っています。全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども政策を総合的に推進することを目的としています。同法は、こども施策の基本理念のほか、こども大綱の策定やこども等の意見の反映などについて定めています。

- 基本法によるこども施策の6つの基本原理**
1. すべてのこどもは大切にされ、基本的な人権が守られ、差別されないこと。
 2. すべてのこどもは、大事に育てられ、生活が守られ、愛され、保護される権利が守られ、平等に教育を受けられること
 3. 年齢や発達の程度により、自分に直接関係することに意見を言えたり、社会のさまざまな活動に参加すること
 4. すべてのこどもは年齢や発達の程度に応じて、意見が尊重され、こどもの今とこれからのため、最もよいことが優先して考えられること
 5. 子育ては家庭を基本としながら、そのサポートが十分に行われ、家庭で育てることが難しいこどもも、家庭と同様の環境が確保されること。
 6. 家庭や子育てに夢を持ち、喜びを感じられる社会をつくること
- (引用;こども家庭庁WEBページ)

<https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo-kihon/>

※次回も「こども基本法」の学びを続けます。

(1面より続く)
 【セッション3】13:40～15:20
 講師のいる4つのアイランドを参加者が移動しながらの講師との直接対話【セッション4】15:20～15:40
 参加者との対話の後に、コミュニティ創りの新たな展開を講師が構想・紹介
講師陣の紹介
 野尻 希恵 氏 日本福祉大学学長補佐・教授 日本福祉教育・ボランティア学習学会会長。子どもの居場所やスクールソーシャルワークについての実践と造詣が深く、白浜町社会福祉協議会や白浜町内の学校でも指導助言のお世話になっているそうです。講座全体のコディネーターもお願いしています。
 新井 肇 氏 関西外国語大学教授 文部科学省「いじめ防止対策協議会」座長、

日本生徒指導学会副会長。いじめ防止、自殺予防等を中心に、生徒指導の理論と実践をつなげる研究の第一人者です。先ごろ改訂された生徒指導提にも深く関わられています。
 森崎 雅好 氏 高野山大学教授 和歌山県臨床心理士会会長。ひきこもりの子ども・若者育成支援や自死念慮者への取組、遺族支援等に関わる研究、支援を続けられています。スクールカウンセラーの経験もあり、このこの心理相談員でもあります。
 藤敷 庸一 氏 このこのセンター長 NPO白浜レスキューネットワーク理事 長。「いのちの電話」等自殺予防活動、一時避難、生活自立支援に関する活動。最近では、子どもの居場所支援や

ウェルビーイングに注目
 講座では、「幸せ」について考えるために、最近耳にするようになってきた「ウェルビーイング」に注目します。ウェルビーイングとは、「肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態」の幸福を意味しています。幸せを肉体的精神的といった個人の領域だけで考えず、社会的な領域にも目を向けます。共々に「幸せ」を追求できるコミュニティ創りを目指すとは、どういう意味なのか。どのような実践が必要なのか。共に考え、ワクワク感を見出せる会に少しでも近づきたいものです。
 ご参加をお待ちしています。

通信今月号に添付している講座のちらしもご覧ください



INNOVATION SPRINGS ACADEMY **子ども教養講座④**

いのちを守る 最前線から

～幸せの土台となるコミュニティ創りへの期待～

「いのち」をテーマにすることで、不登校やいじめ、虐待などの問題の解決と、予防にも接近できるコミュニティのウエルビーイング(※1)について考えていきます。

講座&ディスカッション

厚生労働省によると2022年の1年間で自殺した人は21,881人。このうち児童・生徒は514人で統計開始以降初、500人を超えました。いのちのゲートキーパー(※2)と専門家が、さまざまな状況のなかで命を守り輝かせるための新たな提案と、それをコミュニティがどう受け止めていけるかをコーディネーターが紡いでいきます。

※1 ウエルビーイングとは「肉体的にも精神的にも、そして社会的にもすべてが満たされた状態」の幸福のこと
※2 自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげ、見守る)を図ることができる人

先着40名
参加無料
※お子様連れも可
2024. 2. 25 日
9:30~15:40
(9:00 受付開始)

対象 保護者及びその児童生徒、地域、教育、福祉に関わっている方等
どなたでもご参加ください！

講師



森崎 雅好 氏

- ・高野山大学 教授
- ・県臨床心理士会会長



新井 肇 氏

- ・関西外国語大学教授
- ・文部科学省「いじめ防止対策協議会」座長



藤藪 庸一 氏

- ・白浜バプテスト基督教会 牧師
- ・白浜レスキューネットワーク 理事長



野尻 紀恵 氏

- ・日本福祉大学教授・学長補佐
- ・日本福祉教育・ボランティア学習学会 会長

プログラム

9:30 オープニング

9:40 提案①～④

森崎 雅好 氏 ・ 新井 肇 氏
藤藪 庸一 氏 ・ 野尻 紀恵 氏

11:50～12:50 昼食休憩 (敷地内にレストランあり)

12:50 パネルディスカッション

13:40 ワールドカフェ
(講師と参加者によるグループ別の対話コーナー)

15:40 終了予定

会場案内

INNOVATION SPRINGS
〒649-2333
和歌山県西牟婁郡
白浜町中1701-3
クオリティソフト(株)新館



お申込

WEBページよりお申込みください ※定員になり次第受付終了

【主催】白浜町社会福祉協議会 / くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ / クオリティソフト株式会社

【お問合せ】 E-mail: isacademy@qualitysoft.com

TEL : 050-3196-8051 (9:00 - 17:00)
クオリティソフト株式会社ISアカデミー



お申込みは
こちら



こども教養講座 いのちを守る最前線から、幸せの土台となるコミュニティ創りへの期待

【主催】 白浜町社会福祉協議会 くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ クオリティソフト(株)ISアカデミー



親子・家族関係からいのちに関わる専門的立場から

森崎雅好

MORISAKI Masayoshi

高野山大学 教授
県臨床心理士会会長

著書；自死と向き合うー自殺防止のためにできること… (京都 阿吽社)



学校・教育現場のいのちに関わる専門的立場から

新井肇

ARAI Hajime

関西外国語大学教授
文部科学省「いじめ防止対策協議会」座長
編著書「支える生徒指導」の始め方：「改訂・生徒指導提要」10の実践例 (教職研修総合)



人生をあきらめようとする人に直接向き合うゲートキーパーから

藤藪庸一

FUJIYABU Yoichi

NPO法人 白浜レスキューネットワーク代表

著書；あなたを諦めない 自殺救済の現場から (フォレストブックス)



コミュニティのウェルビーイングを求める専門的立場から

野尻紀恵

NOJIRI Kie

日本福祉大学教授・学長補佐
日本福祉教育・ボランティア学習学会会長

著書；子どもの隠された貧困とソーシャルワーカーの役割 (大学図書出版)

講座の概要

今回のこども教養講座は、「いのちに関わる研究・実践の専門家とゲートキーパー」から最新の状況を踏まえた上で、いのちを守り輝かせる新たな提案がなされます。それをコミュニティがどのように受けとめていけるかを講座参加者の意見も交えて「コーディネータ」が紡いでいく参画型の学習会です。

「いのち」をテーマにすることで、子どもたちの「自死・自殺」の問題だけでなく、「不登校やいじめ、虐待等」の問題の解決と予防に接近できる地域や学校・職場といったコミュニティのウェルビーイングについて考えていきます。

午前中のセッションⅠでは、講義形式で4人の登壇者それぞれの立場から、自死・自殺に関わる考えを示します。そのうえで、問題解決のためのコミュニティへのアプローチのありかたについて、4人それぞれの考え方を述べてもらいます。

午後からのセッションⅡでは、野尻氏のコーディネートによって、各登壇者の考える「いのちを支えるコミュニティのウェルビーイング」を育み高めるためのありかたをつなげていきます。聴いている講座参加者の方々に、「ウェルビーイングの土台となるコミュニティ創り」への期待と接近の仕方を共に見出そうとするモチベーションを芽吹かせます。

セッションⅢでは、4人の講師それぞれが待つ「アイランド(島)」に例えたグループに、参加者が4班に分かれて、「上陸」します。そこで講師との意見交換をする中で、「ウェルビーイングの土台となるコミュニティ創りにより接近するには」を参加者それぞれが模索します。参加者は班ごとに20分間隔で別のアイランドに上陸して次の講師と出会い、対話を重ねていきます。

セッションⅣでは、参加者との対話で重ねた内容に基づき、講師それぞれがコミュニティ創りの新たな展開を構想して、その一端を報告します。最後にコーディネータが本日の学びをまとめて会場で共有して、会をクローズします。

※ウェルビーイングとは「肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態」の幸福を意味しています。

9:30		オープニング	開会行事
9:40	セッションⅠ	提案①	親子関係・家族関係に関わる専門的立場(森崎)から
10:10		提案②	学校・教育現場のいのちに関わる専門的立場(新井)から
10:40		休憩	
10:50		提案③	人生をあきらめようとする人に直接向き合うゲートキーパー(藤藪)から
11:20		提案④	コミュニティのウェルビーイングを求める専門的立場(野尻)から
11:50		昼食休憩(施設内には「たまな食堂」がございます)(昼食持参の場合は会場でお取りください)	
12:50	セッションⅡ	パネルディスカッション	いのちを支えあえるコミュニティのウェルビーイングについて一步踏み込む パネラー(講師)；藤藪庸一・森崎雅好・新井肇、コーディネータ；野尻紀恵
13:40	セッションⅢ	アイスブレイキング	
13:50		ワールドカフェ①	講師と参加者がつながり、4つのアイランドでのコミュニティのウェルビーイング
14:10		ワールドカフェ②	づくりのアイデアを話し合う
14:30		休憩	
14:40		ワールドカフェ③	講師と参加者がつながり4つのアイランドでのコミュニティのウェルビーイング
15:00		ワールドカフェ④	づくりのアイデアを話し合う
15:20	セッションⅣ	クロージング	各アイランドでの話し合いの報告と振り返り
15:40		終了	

【日時】令和6年2月25日(日)9:30~15:30

【場所】INOVATION SPRINGS 649-2333 和歌山県西牟婁郡白浜町中1701-3クオリティソフト(株)内

【定員】先着40名(40名を超えた場合、その後に申し込まれた方はセッションⅣは聴講のみとなります。ご希望が多い場合は、お断りすることもございます。早い目にお申し込みください。申し込み方法はチラシをご覧ください。




のこのこ広場のご案内

～親子で遊びに来ませんか～

1月 

12月になり、今年も残すところあと半月ほどとなりました。みなさまにとって今年とはどんな1年だったでしょうか。子どもたちにとっては1年という期間は大きな変化、成長のある日々となります。親御さんはその変化、成長に一喜一憂しながら共に過ごされてきた1年だったのではないのでしょうか。子育ては時には「しんどいな・・・」と感じることもあります。そんな時にはグチを聞いてもらったり、相談したりできる仲間や相談機関があって、少しでもこころが軽くなれるといいですね。こころが晴れるとまた子どもさんとの時間を楽しむことができます。のこのこも、そんなみなさまに寄り添える場でありたいと思っています。

1月の予定

1月22日(月) 自由遊び・リトミック

11時頃～ のこのこ食堂(親子100円)

※大人一人増えるにつき+100円



22日は月1回の、のこのこ食堂の日です。食堂利用の方は前の週の金曜日

1月19日17時45分までにご予約下さい。

右側にあるQRコードを読み取って必要事項を記載のうえお申込み下さい。

その他、電話やLINE等での予約も可能です。

※NPO法人白浜レスキューネットワーク子ども食堂事業の一環として、のこのこ食堂を開催します。



♪♪【のこのこ広場】♪♪

食堂申込はこちらから↑

10月に始まったのこのこ広場も4回を終え、来ていただいているお母さん同士も顔見知りになってお話しされているのでうれしく思います。

これからもつながりが広がりますように…来年もよろしく願いいたします。

場 所：白浜町青少年研修センター 2F大広間 ※変更する可能性あり

日 時：毎月第2・第4月曜日(祝日は休館)

9:30～11:00

参加費：無料

就学前の乳幼児とその保護者の方、妊婦さんも遊びに来てね。子育ての悩み等、ワイワイとおしゃべりしましょう。おもちゃで遊んだり、紙芝居を見たり、リトミック広場を開催したりします。みんなで楽しく遊びましょう。

※予約不要 ご自由に遊びに来てください。

授乳スペース、おむつ替えスペースあります

のこのこ広場

くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ

連絡先 TEL 0739-42-5515
FAX 0739-42-5516



のこのこ HP LINE



G mail





のこのこ広場のご案内

～親子で遊びに来ませんか～

2月

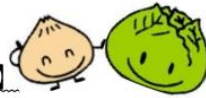
新年あけましておめでとうございます。2024年の年明けを、健やかに迎えられたことと思います。新しい年がみなさまにとって明るい一年となりますように。

さて、今年ものこのこ広場は、小さな子どもたち同士の触れ合いや、遊びの場となり、お家の方の憩いの場となれるよう、開催していきます。スタッフ一同、みなさまとの時間を楽しみにしながら、お待ちしております。



～開催しました～

【12月 初めてののこのこ食堂】



12月25日は初めてののこのこ食堂でした。この日のメニューは野菜を小さく切ったポトフ。子どもたちはお友達と一緒に楽しそうによく食べ、おかわりをしてくれるお友達もいました。



2月の予定

2月26日(月) 自由遊び・リトミック



11時頃～ のこのこ食堂(親子100円)

※大人一人増えるにつき+100円

場 所：白浜町青少年研修センター 2F大広間 ※変更する可能性あり

日 時：毎月第2・第4月曜日(祝日は休館)

9:30～11:00

参加費：無料

就学前の乳幼児とその保護者の方、妊婦さんも遊びに来てね。子育ての悩み等、ワイワイとおしゃべりしましょう。おもちゃで遊んだり、紙芝居を見たり、リトミック広場を開催したりします。みんなで楽しく遊びましょう。

※予約不要 ご自由に遊びに来てください。

授乳スペース、おむつ替えスペースあります

のこのこ食堂申込み

26日は月1回の、のこのこ食堂の日です。食堂利用のみ予約が必要です。利用される方は前日17時45分までにご予約下さい。右のQRコード又は、電話にてご予約いただけます。

※NPO 法人白浜レスキューネットワーク子ども食堂事業の一環として、のこのこ食堂を開催します。



のこのこ広場

くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ

連絡先 TEL 0739-42-5515
FAX 0739-42-5516



のこのこ HP LINE



G mail

